

平成22年度 県立相生産業高等学校 学校評価(自己評価)

領域	評価の観点	評価項目	点検・評価表 (目標達成が、4:できた■ 3:どちらかというとき■ 2:どちらかというときできなかった■ 1:できなかった■)										
			実践目標	評価者数				平均	評価点数の割合				
				評価4	評価3	評価2	評価1		0%	20%	40%	60%	80%
開かれた学校づくり	家庭・地域との連携	家庭や地域への情報発信	学年・学級・生徒指導部・保健部より、ホームページなどで保護者に学校の情報を提供する。	15	23	3	0	3.3	37	56	7	0	1
		PTAとの連携	学校行事をとおしてPTAと連携し、生徒の指導について協働した行動をする。	10	26	5	0	3.1	24	63	12	0	2
		小・高連携	小学校と連携し、レインボークロック製作などのづくりに取り組む。	27	10	3	0	3.6	68	25	8	0	3
		学校評議員制度等を活用した学校運営の推進	保護者へのアンケート、学校評議員からの意見を学校運営に反映、授業や学校行事の改善に役立てる。	3	27	11	0	2.8	7	66	27	0	4
総務部	学校安全管理の充実	防災・安全教育	防災・減災に関する知識の普及と避難訓練の実施による意識の向上と対処能力を養う。	7	28	6	0	3.0	17	68	15	0	5
		行事の企画・立案	各部署との連携を保ちながら、儀式的行事の企画・立案・運営をする。	12	23	6	0	3.1	29	56	15	0	6
教務部	特色ある教育課程の編成	学科の特色を出す教育課程の編成	平成23、24年度入学生教育課程の編成、平成23年度実施教育課程の決定。	12	22	7	0	3.1	29	54	17	0	7
		学習計画と評価	各教科ごとの「シラバス」「年間指導計画」「評価規準」「授業評価」の内容を充実させる。	6	26	9	0	2.9	15	63	22	0	8
生徒指導部	指導体制の確立と規範意識の向上を図る	指導体制の確立と規範意識の向上	規範意識の向上を図る。(挨拶の励行、服装指導の徹底、交通ルールや列車内マナーの遵守)	17	23	1	0	3.4	41	56	20	0	9
		全教職員、全校生徒による活動の充実と推進	生徒会活動の活性化(ボランティア活動への参加、部活動の奨励等)を図る。	11	27	3	0	3.2	27	66	7	0	10
	心のサポートの充実	支援方法の研究および研修会の取り組み	特別支援に関する研修会を持ち、理解を深めるとともに、日々の生活に悩み苦しんでいる生徒への「心」のサポートを図る。	17	18	6	0	3.3	41	44	15	0	11
進路指導部	進路指導体制の充実と主体的な進路選択能力の育成	職業観・勤労観の育成と進路意識の向上	インターンシップ、企業・大学説明会、卒業生講話などを通して進路意識を向上させる方法を検討し、実施する。	10	28	3	0	3.2	24	68	7	0	12
	キャリア教育の推進	資料作成	進路HR計画、進路の手引きなどの資料作成および利用方法の支援を図る。	5	29	7	0	3.0	12	71	17	0	13
保健部	事故防止と健康教育の充実	キャンパスカウンセラーの活用等	事例研究会や教員・生徒・保護者の教育相談活動の充実を図る。	6	29	4	2	3.0	15	71	10	5	14
		環境整備と健康教育の充実	健康診断後の処置指導を促し、健康な生徒づくりにこころがける。	6	30	5	0	3.0	15	73	12	0	15
			心肺蘇生法とAED操作を教職員・生徒への講習会を開催して習得させる。	15	23	3	0	3.3	37	56	7	0	16
			薬物乱用防止教育、喫煙教育、性教育、エイズ教育の充実を図る。	13	25	3	0	3.2	32	61	7	0	17
			生徒による保健活動と美化活動および施設設備の安全点検をする。	5	25	10	0	2.9	13	63	25	0	18
図書情報部	図書室運営	魅力ある図書館づくり	図書委員活動を積極的にを行い、魅力ある図書館づくりを目指す。	1	18	19	3	2.4	2	44	46	7	19
	情報関係	蔵書のデータベース化・図書丸ネット完成・50インチモニターの運用	図書丸ネットを完成させ、2学期からバーコードによる貸出・返却運用を実施する。職員用パソコンの整備と50インチモニターの運用および管理体制の確立を図る。	2	14	23	1	2.4	5	35	58	3	20
機械科	学科の特色化の推進	体験活動の充実	小学校への出前授業、国際貢献ボランティア(車椅子修理)、就業体験等とおして、生徒に心豊かな人間性や職業観・勤労観を養わせる。	21	19	1	0	3.5	51	46	20	0	21
			熟練技術者「匠の技」によるコンテスト入賞や資格・検定取得の向上をさせることにより、ものづくりを主眼とした学科の活性化を行う。	18	21	1	0	3.4	45	53	30	0	22
電気科	学科の特色化の推進	体験活動の充実	学んだ技術・技能を用いて、地域のニーズに応えられる生徒を育成する。	11	23	6	0	3.1	28	58	15	0	23
			実験・実習・インターンシップ等の体験的な学習を通して、自ら探求する能力や態度を養う。	12	24	5	0	3.2	29	59	12	0	24
		資格取得の合格率の向上	資格検定の補習授業の実施。電気系資格検定の合格率の向上を図る。	13	21	7	0	3.1	32	51	17	0	25
商業科	学科の特色化の推進	地域貢献事業および体験活動の充実	販売実習、子どもとのふれあい事業、人形劇等による校外実習をとおして、コミュニケーション能力やビジネスマナーを高める。	17	23	1	0	3.4	41	56	20	0	26
		基礎学力の定着	「体験」に重点を置いた教育課程と科目の精選により、授業方法を工夫したわかりやすい授業を実施する。	10	28	3	0	3.2	24	68	7	0	27
		資格取得の合格率の向上	検定・資格取得のための特別補習を実施し、上位級の取得を目指す。	17	21	3	0	3.3	41	51	7	0	28
被服科	学科の特色化の推進	職業観・勤労観の育成と進路意識の向上	進路実現のため、将来の夢や目標設定の援助を行う。	9	28	3	0	3.2	23	70	8	0	29
		地域社会との交流	ファッションショーや各種コンテストの応募と取り扱いについて検討する。	21	19	0	0	3.5	53	48	0	0	30
	閉科にともなう準備	閉科にともない、式典の挙行と、お世話になった地元の方や卒業生に向かって感謝を込めて、最後のファッションショーを実施する。	34	7	0	0	3.8	83	17	0	0	31	
1学年	学年・HR経営保護者との連携	生徒理解・保護者との連携	学年通信・クラス通信や個人面談、三者懇談を行い、家庭との協力体制のもと生徒理解に心がける。	13	25	2	0	3.3	33	63	5	0	32
		高校生としての基本的な生活習慣の確立	挨拶の励行、服装・頭髪等の身だしなみを整えさせる。また、遅刻・欠席・早退等の指導を徹底する。	9	25	5	0	3.1	23	64	13	0	33
		学習面の基礎基本の徹底	進路実現のため、基礎学力の定着や資格取得に努めるとともに、将来の夢や目標を持たせる。	5	29	5	0	3.0	13	74	13	0	34
2学年	学校生活の充実	生徒の内面理解	担任と保護者の理解を深め、各家庭が生徒個々に望む将来像を理解し、その実現に向けた指導を深める。	10	27	2	0	3.2	26	69	5	0	35
		基本的な生活習慣の確立	団体行動の大切さ、規律正しい服装の必要性など、時や場に応じた基本的な生活態度がとれるようにする。	9	23	6	1	3.0	23	59	15	3	36
		自己実現のための取組	生徒自身がクラス目標を設定し、学校行事等を通じて、実現に向けて積極的に参加させる。	8	18	11	2	2.8	21	46	28	5	37
3学年	進路について	コミュニケーション能力の向上	卒業学年として、社会の中で互いに認め合い・助け合い・支え合うことのできる人間関係を築いていく力を身につけさせる。	8	23	7	0	3.0	21	61	18	0	38
		「生きる力」を育む	専門的な知識・技能の習得や資格取得をとおして、自ら学び・考え・解決する力を身につけさせる。	7	29	3	0	3.1	18	74	8	0	39
		進路意識の向上	より具体的な進路指導をとおして自己の適性を理解させ、自らの意志で進路を決定する力を身につけさせる。	11	25	3	0	3.2	28	64	8	0	40
		学校生活の充実	最上級生にふさわしいリーダーシップを発揮して、行事や委員会活動を活発に運営し、学校生活を充実したものにする。	8	22	8	0	3.0	21	58	21	0	41